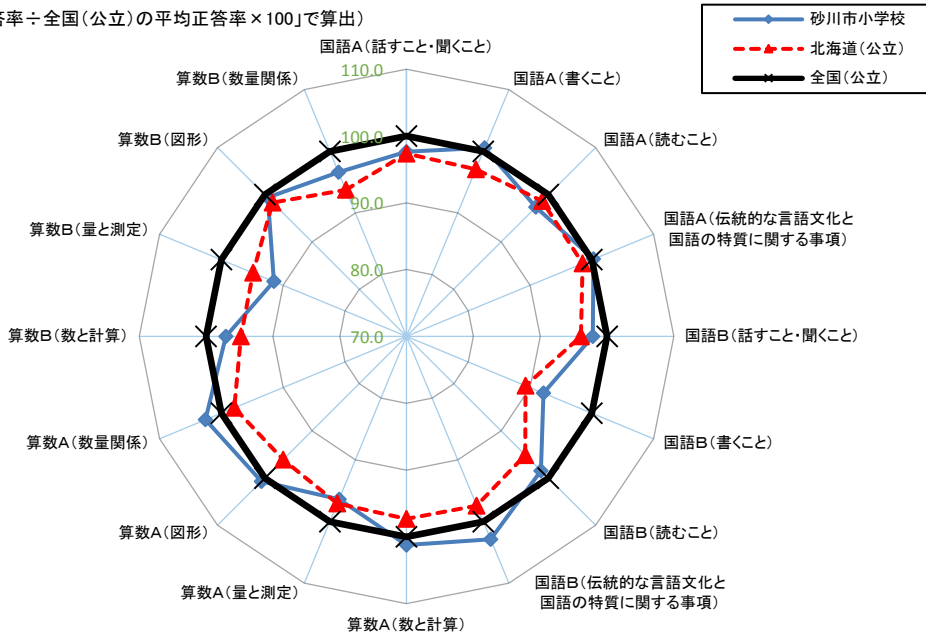


■砂川市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:147名)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
 (「市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100」で算出)



【児童質問紙調査】

(「市全体の児童の割合÷全国(公立)の児童の割合×100」で算出)

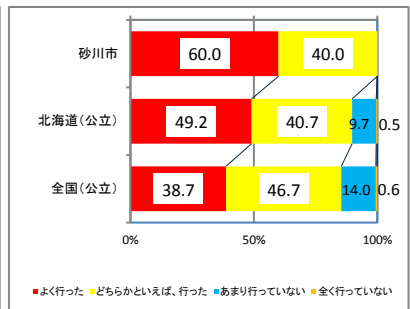
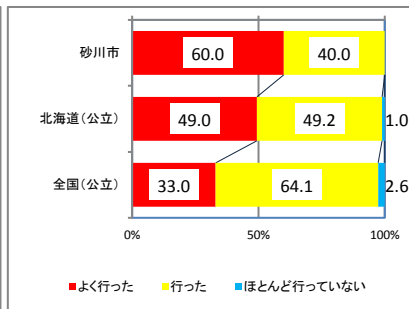
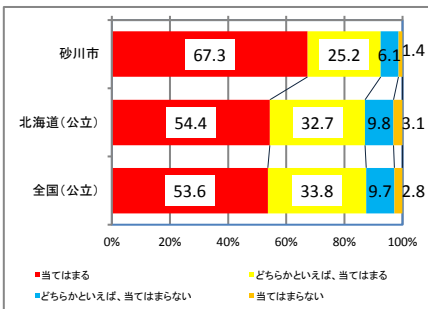
【学校質問紙調査】

(「市全体の学校の割合÷全国(公立)の学校の割合×100」で算出)

国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

平成25年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行いましたか。

家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(国語/算数共通)。



【分析】

教科	○ 国語Aの「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数Aの「数と計算」「図形」「数量関係」で、全国平均を上回っている。	○ 「平成25年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映」や「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員での共通理解」をよく行った結果、国語Aの「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数Aの「数と計算」「図形」「数量関係」で、全国平均を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という質問に対して「当てはまる」と回答した児童の割合が全国及び全道平均を上回っている。	
学校質問紙	○ 「平成25年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映」や「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員での共通理解」をよく行った学校の割合が全国及び全道平均を上回っている。	

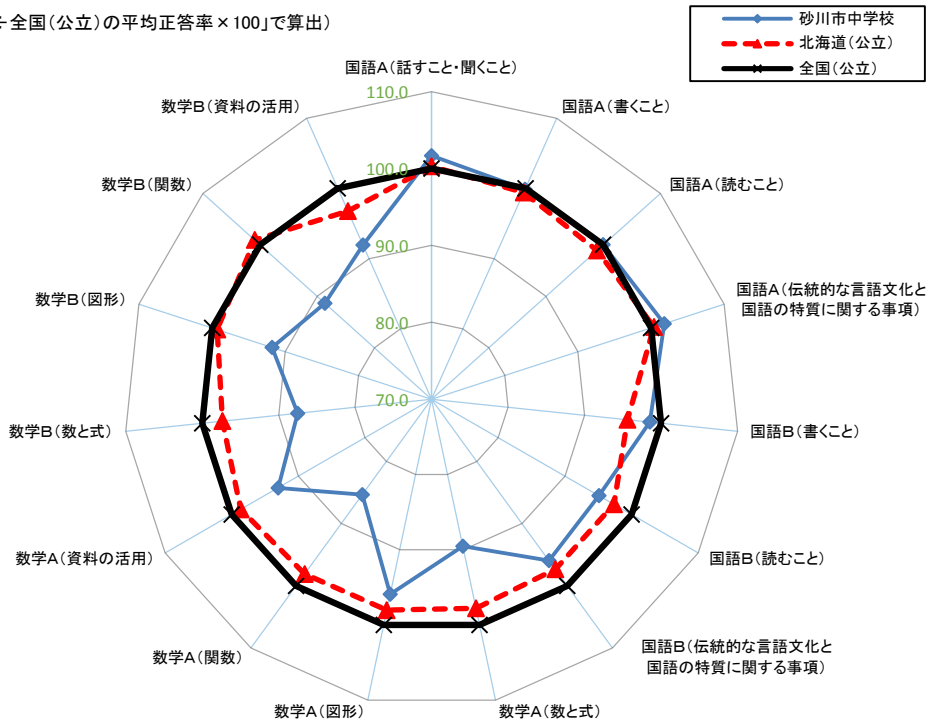
【砂川市の学力向上策】

- ◎ 9年間の学びの連続性の確保に向け、小・中学校の連携を深めるための体制整備
- ◎ 校内外の研究の充実により授業力を組織的に高め、分かる授業・できる授業の実践
- ◎ 個に応じた学習指導の工夫・改善を通して、生涯にわたって学び続ける態度の育成

■砂川市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:146名)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
 (「市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100」で算出)



【生徒質問紙調査】

(「市全体の生徒の割合÷全国(公立)の生徒の割合×100」で算出)

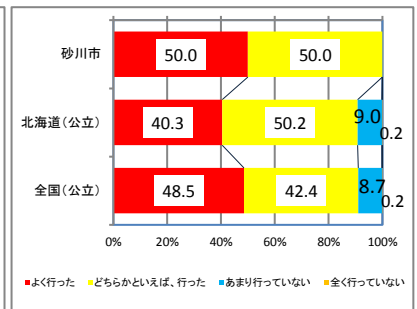
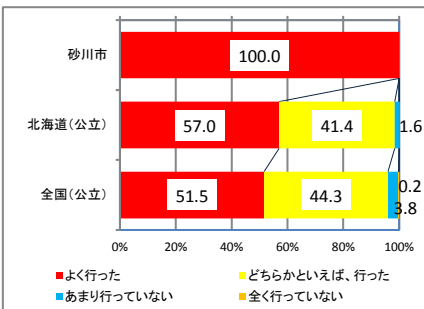
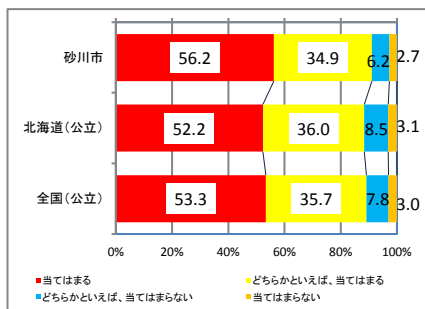
【学校質問紙調査】

(「市全体の学校の割合÷全国(公立)の学校の割合×100」で算出)

国語の勉強は大切だと思いますか。

数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか。

国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか。



【分析】

教科	○ 国語Aの「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国平均を上回っている。	○ 「国語で、家庭学習の課題(宿題)を与えること」を行った結果、国語Aの「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国平均を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の勉強は大切だと思いますか」という質問に対して「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国及び全道平均を上回っている。	
学校質問紙	○ 「数学で、計算問題などの反復練習をする授業」や「国語で、家庭学習の課題(宿題)を与えること」を行った学校の割合が全国及び全道平均を上回っている。	

【砂川市の学力向上策】

- ◎ 9年間の学びの連続性の確保に向け、小・中学校の連携を深めるための体制整備
- ◎ 校内外の研究の充実により授業力を組織的に高め、分かる授業・できる授業の実践
- ◎ 個に応じた学習指導の工夫・改善を通して、生涯にわたって学び続ける態度の育成